

【科目情報】

授業コード	1FCB301010	科目ナンバリング	FCALAW71026-J1
授業科目名	刑法第1部A（総論・犯罪論および刑罰論の基礎）		
担当教員氏名	金澤 真理		
開講年度・学期	2022年度前期	曜日・時限	火曜2限
授業形態	講義		
単位数	2単位		

【シラバス情報】

授業概要	刑法の基礎理論及び刑法典第1編総則のうち、構成要件該当性、違法性、責任の内容を講述する。
到達目標	普通刑法並びに特別刑法上の犯罪に共通する犯罪の一般的要素に関して、その概念、内容につき正確な知識を習得すると共に、犯罪の成否を論じる際の判断基準を、具体的事例に則して体系的に思考する能力を身につける。

授業回	各回の授業内容	事前・事後学習の内容
第1回	刑法の意義、目的、機能、刑法の解釈指針	事前学習：授業計画に合わせて、体系書の該当部分を読み、概要を理解する。 事後学習：講義で扱った内容を整理し、理解困難な部分を補充する。
第2回	犯罪論体系と犯罪論の思考方法	同上
第3回	刑法の効力	同上
第4回	構成要件論：概論	同上
第5回	構成要件要素：客観的要素（主体、行為等）	同上
第6回	構成要件要素：客観的要素（因果関係）	同上
第7回	構成要件要素：主観的要素	同上
第8回	違法論	同上
第9回	違法性阻却事由：法定事由	同上
第10回	超法規的違法阻却事由	同上
第11回	責任論	同上
第12回	責任能力	同上
第13回	故意	同上
第14回	錯誤	同上

第15回	過失	同上
第16回	期末試験	

成績評価方法	到達目標の達成度を測るため、以下により絶対評価の方法を用いる。試験成績（中間試験を含む。内訳：中間試験20%、期末試験80%）80%、平常点（講義における質疑応答、確認課題への取り組み）20%。基本的概念を正確に理解し、それを用いて論理的な説明ができることが最低基準である。
履修上の注意	予復習を欠かさぬようにしてください。
教科書	山口厚『刑法総論（第3版）』（有斐閣）
参考文献	別冊ジュリスト『刑法判例百選Ⅰ（第8版）』（有斐閣）
その他	